

～今月の花木～



アオキ 青木

アオキ科・常緑低木・日本原産

幹も葉も青いから「青木」。日陰を好む植物として有名である。雌雄異株で上の写真は雄花である。雌株は冬に赤い実をつける。



植栽を適切に管理することは、景観や資産価値の向上につながる

植栽管理の話

公園や道路、学校や事業所や店舗、集合住宅や個人邸等々、植栽のある所には植栽管理がつきものです。新年度になり、初めて植栽を管理する方も、また、今まで管理されている方にも参考にして頂けたら幸いです。

■植栽管理とは…

生き物である植物相手のため、生育時期や特性を理解した管理計画・作業が必要です。年間を通して効率的な作業時期、回数を定め、対象の植栽が枯れたり、花が咲かなくなったりするリスクの出にくい時期に作業をすることが望ましいです。

植物の種類により管理作業は時期や頻度が異なります。裏面に一般的ではありませんが、「植栽管理年間作業表」を掲載しましたので、下の紙面と合わせて参考に見て下さい。

基本的には伸びて見苦しくなったから切る、刈るといった作業が中心ですが、倒木や枯枝の落下など人や財産に被害が及ぶのを未然に防ぐことや、植物を病虫害被害から守ること、元気に生育させる事なども植栽管理には含まれます。

■植栽管理の意義…

少子高齢化社会の進展に伴い、予算や人が減る中、植栽管理に割ける予算にも削減傾向がみられます。施設の管理費などに於いて予算削減令が発令されると、光熱費や建物等施設の維持補修に比べ植栽管理は不急と見なされ

れ、真つ先に削減対象となる傾向があります。以前より剪定や除草などの回数が減らされ、もしくは実施しないなど、管理レベルの低下がみられる場所もあります。究極的には踏切を無くせば踏切事故は起こらないように植栽を無くせば枯枝の落下や倒木など事故も無く、管理作業をする必要も無いのですが、果たして無くしてもいいものなのでしょうか。

意識する、しないに関わらず植栽には景観の維持・向上や環境・防災対策など社会的意義もあり、安易に無くせばいいものではありません。しかし維持管理にかかる費用を減らさなくてはいけないなどの課題もクリアしなくてはなりません。

■植栽管理の今後…

かつて植えられた樹木の大型化や腐朽など障害の発生により以前より管理が大変になってきている面もあります。特に街路樹管理ではその傾向が顕著です。そのため、大きくなった樹木をコンパクトな樹種に植え替えるなどの動きもみられますが、ケヤキやサクラなど、その場所の名的役割もある植栽については簡単にはいかないのが現状です。場所によっては植替えや一時的な強剪定で樹冠を造り直すなど今後は植栽の更新が必要になってきます。

現状維持でいくのか、変えていくのか。予算など様々な制約のある中、将来も見越してメリハリをつけた植栽管理が必要になってきています。

定番管理	<h3>剪定</h3> <p>枝を切ることによって、美観を整える、木を小さくする、陽当たりや風通しを良くして病虫害から木を守るなどの目的がある。</p>	<h3>刈込み</h3> <p>低木や生垣などの樹冠表面を刈込鋏やトリマー(刈込機)等で均一に刈込むことにより美観を整え木の大きさを抑制する。</p>	<h3>芝刈り</h3> <p>芝は生育旺盛な期間は刈り込むほどに密でしっかりした芝生になる。芝生地では一番基本的かつ重要な作業である。</p>
	<h3>草刈り・除草</h3> <p>草刈とは雑草を刈払機や鎌で刈り取り、除草は植込み内などの雑草を根元から引き抜くことを指す場合が多い。</p>	<h3>病虫害防除</h3> <p>殺虫剤、殺菌剤を用いた薬剤散布が安価で効果も高いが、公園や街路樹など今では散布を規制している場所も多い。</p>	<h3>伐採(抜根)</h3> <p>枯木や根元の著しい腐朽等により倒木の可能性がある木は早期に伐採等の対処が必要である。抜根は根っこまで撤去すること。</p>
いつもの管理に+α	<h3>土壌改良・施肥</h3> <p>物理的に土壌の通気性を改善し、養分を補うことで植物を元気にする。</p> 	<h3>樹木点検・診断</h3> <p>倒木等の事故を未然に防ぐ観点から、近年実施する場所・組織が多くなっている。</p> 	<h3>植え替え</h3> <p>枯木取替、害虫のつきにくい樹種、小型の樹種への変更など様々な目的で実施する。</p> 

植栽管理年間作業表

作業時期は一般的な目安の一例です。植栽の種類や目的により変わる場合がありますので、詳しくはお問い合わせ下さい。

最適期 ←————→ 多少よい時期 ←.....→

作業内容\時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
樹木管理													
常緑樹剪定	常緑樹は寒い時期はよくない												
落葉樹剪定	花木は花芽形成前に剪定		夏期剪定(軽剪定)			落葉前だと落葉清掃が楽/冬期剪定(基本剪定)							
針葉樹剪定	針葉樹は時期によらず強剪定に弱いものが多い												
植込みや生垣刈込	花木は花芽形成前に剪定				花芽形成後の花木は、とびを取る程度に軽く刈込む								
植込み地除草													
施肥	春の芽だし肥や花後のお礼肥(速効性肥料)					寒肥は特に有効(遅効性肥料)							
病害虫防除	チャドクガ(ツバキ類)注意			サクラ、ツバキ類注意			冬季にはマシン油乳剤、石灰硫黄合剤が散布できる						
マツ手入れ	みどり摘み				もみ上げ(古葉落とし)、透かし剪定								
マツ枯れ防止	枯マツは4月までに伐採が特に有効					マツ枯れ予防剤注入は冬期に施工が必須							
芝生管理													
※冬に休眠(冬枯れ)する、野芝や高麗芝などの日本芝の場合													
芝刈り	月1回		月2回			月1回(11月で刈り止め)							
除草剤散布						冬雑草発芽前			夏雑草発芽前				
施肥	←————→ ←————→ ←————→ ←————→ ←————→ ←————→ ←————→ ←————→ ←————→ ←————→ ←————→ ←————→												
手取り除草										冬雑草は目立つので取りやすい			
芝張り(補植含む)	←.....→ ←.....→ ←.....→ ←.....→ ←.....→ ←.....→ ←.....→ ←.....→ ←.....→ ←.....→ ←.....→ ←.....→												
裸地・そのた管理													
草刈り・除草	最低年3回は行いたい												
落葉はき	新芽が出た後の常緑樹					落葉樹							
樹木点検	枯枝や危険木の早期発見		台風被害の予想点検			台風後の被害点検			大雪後の被害点検				

チャドクガ、みつけた!



サザンカ、ツバキ、チャの木などにチャドクガの卵や幼虫(下の写真)を見つけたら要注意!!! 人の皮膚に触れるとかぶれますので、枝ごと補殺するか、薬剤散布(殺虫剤)で対処します。卵や幼虫が脱皮した抜け殻にも毒があります。年2回発生し、1回目は5月の大型連休前後、2回目は8月のお盆休み後位には例年見かけることが多く、対象木(ツバキ類)には注意が必要です。

